

## 交通政策審議会港湾分科会環境部会洋上風力促進小委員会(第17回)

### ○日時

令和4年9月20日(火) 15時00分～16時10分

### ○場所

オンライン開催

### ○出席委員(五十音順)

相山女学園大学 大串委員、横浜国立大学・放送大学 來生委員(委員長)、

早稲田大学 清宮委員、一般社団法人海洋産業研究・振興協会 中原委員

欠席者:東京大学大学院 加藤委員

### ○事務局

国土交通省大臣官房 遠藤技術参事官

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 衛藤課長

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 海洋利用開発室 加賀谷室長

### ○オブザーバー

経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課風力政策室 石井室長

### ○議題

- (1) 新たな海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)の指定に係る港湾管理者への意向調査の結果について
- (2) その他

## ○議事概要

### 【新たな海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)の指定に係る港湾管理者への意向調査の結果について】

#### 清宮委員

- ・ 今回の意向調査で基地港湾指定の意向のあった港湾の大宗は、基本的には着床式を想定しているものと理解。政府目標の2040年までを考えると浮体式が主流になるであろうところ、資料中には着床式を想定した考え方である旨を記載したらどうか。例えば一覧表に関して、「すべての港湾で地耐力強化が必要」との注釈が記載されているが、これは着床式への対応を想定した場合であり、浮体式の場合は現状どの程度の地耐力が必要か明確ではないので、誤解のない記載に修正すべき。
- ・ 「意向調査結果の整理・公表の方針(案)」等における「将来的に基地港湾の指定見込みのある港湾(ふ頭)」として整理・公表することは現時点では不適切である旨の表現が公表されることは気がつけたい。今回の公表が、基地港湾の整備について国が一步下がったというメッセージにならないような表現が必要。例えば、どのような条件が揃えば基地港湾の指定見込みのある港湾になるのかという質問に対してのコメントを記載するなどの対応は可能か。

#### 大串委員

- ・ 今回の調査を通じ、様々な港湾で基地港湾のために必要な整備の検討が進められるであろうところ、国においても、各港湾における改良費用や整備期間等の想定を把握しておいてほしい。
- ・ 基地港湾の検討を進める港湾管理者に対し、指定済みの基地港湾(能代港、秋田港、鹿島港、北九州港)の事例を積極的に共有いただきたい。特に、洋上風力発電設備の維持管理のために必要な機能について、有事の際に洋上風力発電を止めないようにするための用地確保が必要といった観点からも知見を共有いただきたい。
- ・ 「将来的に基地港湾の指定見込みのある港湾(ふ頭)」として整理・公表することは、「現時点では不適切」という表現については、「現時点では時期尚早」という表現にしてはどうか。

#### 中原委員

- ・ 基地港湾指定に係る全国的な意向調査は今回が初であり、画期的なものである。今回事務局よりあった指摘を踏まえ、各港湾における検討内容をより精査することで、全体的な底上げに繋げてほしい。
- ・ 清宮委員からのご意見と同様に、浮体式への対応のため、基地港湾として必要な機能について検討の余地がある。
- ・ 「整理・公表することは現時点では「不適切」という表現に対する懸念も同感である。事務局作成のこの文章の意味は、様々な課題があるとともに、今後の案件形成は変動要因も多いため、現時点で断定的に述べるのが難しい、好ましくない、という主旨と理解できる。そういった主旨をより正確に読み手に伝えるためには、どのような表現が適切か考える必要がある。

#### 事務局

- ・ (清宮委員、中原委員からの意見に対し、)浮体式は技術開発中であり、表の大半は着床式を想定したものであると考える。将来的には、浮体式の本格的な普及も目指して、どういった要件が必要になるか検討する必要がある。ホームページで公表予定の資料では、そういったニュアンスが伝わるように留意点を付したい。

- ・ (大串委員からの意見に対し、)各港湾における概算の改良費用や整備期間については、今回の意向調査において港湾管理者に回答いただいたところであり、今後の基地港湾の整備等の参考にさせていただきたい。
- ・ (大串委員からの意見に対し、)維持管理に関して、先行している基地港湾において今後熟度が高まっていくものと思料。国としては、指定済みの基地港湾の知見を共有しながら進めさせていただき、より良い基地港湾が提供できるようにしていきたい。
- ・ 指定見込みのある港湾の整理・公表は難しい理由として、工期短縮等のコスト縮減や他の港湾機能との調和等を記載させていただいている。他方、各委員からご指摘いただいた通り、後退するような印象を与えかねない表現は避けた方が良く考えるので、後日ホームページで公表する資料では、表現を工夫させていただきたい。

### 【基地港湾の整備状況等に係る現状報告について】

#### 清宮委員

- ・ 指定済みの基地港湾について、概略事業費は記載できないか。これから基地港湾になろうとする港湾の参考になる。

#### 中原委員

- ・ 洋上風力発電の国内産業の育成が声高に叫ばれている状況の中、これだけの事例が国内で動いているということについて、情報をまとめたことは意義深い。
- ・ 8頁中大半がサプライチェーン拡大に関するものなので、表紙の見出しを、名が体を表す形で、「基地港湾の整備状況並びに関連したサプライチェーン拡大の取組み」とでもした方がいいのではないか。

#### 事務局

- ・ (清宮委員からの質問に対し、)事業費については、公募占用指針に貸付料の基礎となる額として記載しているほか、事業評価においても公表している。本資料は改めて公表するものではないため、ご指摘の点については、今後の資料作成の参考とさせていただきたい。
- ・ (中原委員からの意見に対し、)本資料は改めて公表するものではないため、ご指摘の点については、今後の資料作成の参考とさせていただきたい。

### 【とりまとめ】

#### 來生委員長

- ・ 各委員からのご指摘を踏まえた資料の修正対応については、委員長一任とさせていただきたい。

#### 全員

- ・ 異議なし。

以上